

1. 整備新幹線の経緯

昭和45年 5月	全国新幹線鉄道整備法制定	
昭和46年 1月	基本計画決定	長崎ルートは昭和47年12月
昭和48年11月	整備計画決定	
昭和57年 9月	閣議決定	整備新幹線計画を当面凍結
昭和62年 1月	閣議決定	上記凍結の解除
昭和62年 4月	国鉄・分割民営化	JRの発足
昭和63年 1月	第1回整備新幹線建設促進検討委員会開催 (～平成元年1月)	
昭和63年 8月	政府・与党申合せ	「旧整備スキーム」の策定
平成 元年 1月	政府・与党申合せ	
平成 2年12月	政府・与党申合せ	
平成 3年 4月	全国新幹線鉄道整備法の一部を改正する法律公布・施行	ミニ新幹線・スーパー特急方式に関する制度を創設
平成 3年10月	鉄道整備基金設立	
平成 6年 2月	連立与党(社会・新生・公明・さきがけ・日本新党・民社)申合せ	整備新幹線の見直しについて
平成 6年 2月	大蔵・運輸・自治三大臣申合せ	
平成 6年12月	連立与党(自民・社会・さきがけ)申合せ	
平成 6年12月	関係大臣(官房長官・大蔵・運輸・自治)申合せ	
平成 8年12月	政府・与党合意 「整備新幹線の取扱いについて」	「新整備スキーム」の策定
平成 9年 5月	全国新幹線鉄道整備法の一部を改正する法律公布・施行	新幹線の工事費(貸付料を除く)は、国及び都道府県が負担
平成 9年 7月	第1回政府・与党整備新幹線検討委員会開催 (～平成10年1月)	
平成 9年10月	北陸新幹線 高崎・長野間 開業	
平成 9年12月	政府・与党整備新幹線検討委員会 「新規着工区間の取扱い方針について」	集中改革期間中の新規着工3線3区間の事業費を抑制
平成10年 1月	政府・与党整備新幹線検討委員会における検討結果	3線3区間の新規着工の決定等
平成10年 1月	政府・与党申合せ 「新規着工区間の取扱い方針について」	新規着工3線3区間の抑制方針の解除
平成12年12月	政府・与党申合せ 「新規着工区間の取扱い方針について」	2線3区間の新規着工の決定等
平成14年12月	東北新幹線 盛岡・八戸間 開業	
平成15年12月	政府・与党合意	基本条件の確認
平成16年 3月	九州新幹線 新八代・鹿児島中央間 開業	
平成16年 8月	政府・与党申合せ 「整備新幹線の取扱いについて」	平成17年度の概算要求に未着工区間の着工についての事項要求を決定
平成16年12月	政府・与党申合せ 「整備新幹線の取扱いについて」	3線4区間の新規着工の決定等 「現在の整備スキーム」の策定
平成19年12月	政府・与党整備新幹線検討委員会における合意事項	九州新幹線(長崎ルート)武雄温泉・諫早間については、早期着工に向けた関係者の調整を促進することを合意
平成20年 3月	政府・与党整備新幹線検討委員会	九州新幹線(長崎ルート)武雄温泉・諫早間の着工の基本条件が確認され、西九州ルートへの着工に向けた政府・与党の手続きが完了 同月、国土交通大臣が新規着工を認可

平成20年12月	整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループにおける合意事項	長崎駅部の整備を含む新規着工区間が示され、平成21年度末までに認可するための検討を開始
平成21年8月	政権交代（民主党政権へ）	
平成21年10月	国土交通大臣表明	「平成20年12月の政府・与党合意の新規着工検討区間については白紙とし、新しい政府・与党で整備のあり方を決めていく」
平成21年12月	整備新幹線問題検討会議 「整備新幹線の整備に関する基本方針」 「当面の整備新幹線の整備方針」	着工に当たっての基本的な条件を含む基本方針及び建設中の区間・未着工の区間の整備方針を決定
平成22年1月	第1回整備新幹線問題調整会議開催 (～平成22年7月 第10回)	具体的事項の検討・調整を行うため、地方自治体・JR等の関係者からヒアリングを実施
平成22年8月	整備新幹線問題検討会議 「整備新幹線の未着工区間等の取扱いについて」	未着工区間の各線区の課題提示
平成22年12月	東北新幹線 八戸・新青森間 開業	東北新幹線全線開業
平成22年12月	国家戦略担当大臣・財務大臣・国土交通大臣合意 「独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の特例業務勘定における利益剰余金等の取扱いについて」	北陸新幹線（高崎・長野間）の債務償還等を合意
平成22年12月	整備新幹線問題検討会議 「整備新幹線問題に関する今後の対応について」	貸付料を整備新幹線の建設費に充当し、地方負担の軽減を図る
平成23年3月	九州新幹線 博多・新八代 開業	九州新幹線鹿児島ルート全線開業
平成23年5月	衆議院国土交通委員会 「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」	未着工区間の早期認可、肥前山口・武雄温泉間の複線化等改良の推進等を決議
平成23年6月	参議院国土交通委員会 「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」	(同上)
平成23年12月	民主党・国民新党 「整備新幹線の未着工区間の取扱いにかかる申入れ」	未着工3区間の早期認可・着工を申入れ
平成23年12月	政府・与党確認事項 「整備新幹線の取扱いについて」	未着工3区間の着工方針決定
平成24年1月	第1回整備新幹線小委員会開催 (～平成24年3月 第9回)	収支採算性・投資効果の確認等を審議
平成24年4月	整備新幹線小委員会 「収支採算性及び投資効果の確認」に関するとりまとめ	収支採算性・投資効果の妥当性を確認
平成24年6月	整備新幹線工事实施計画認可	国土交通大臣が武雄温泉～長崎間を含む3線3区間の工事实施計画を認可
平成24年12月	政権交代（自民党・公明党政権へ）	
平成25年5月	与党 整備新幹線建設推進プロジェクトチーム（与党PT）開催[完成・開業の前倒し関係] (～平成26年7月 第14回)	整備中3区間の完成・開業の前倒し等について、関係自治体・JR等の関係者からヒアリングを実施し、協議

平成26年 8月	政府・与党申合せ 「整備新幹線の取扱いについて」	開業時期の前倒しについて、財源上・技術上の課題等の検討を行うため、政府・与党からなるワーキンググループを設置
平成26年 9月	第1回政府・与党ワーキンググループ開催 (～平成24年1月 第4回)	開業時期の前倒しについて、財源上・技術上の課題等を検討
平成27年 1月	政府・与党整備新幹線検討委員会開催 政府・与党申合せ 「整備新幹線の取扱いについて」	北海道新幹線（新青森・新函館北斗）、北陸新幹線（長野・金沢間）は予定どおりの完成・開業を実現 北海道新幹線（新函館北斗・札幌）は5年、北陸新幹線（金沢・敦賀）は3年、九州新幹線（武雄温泉・長崎）は可能な限り、完成・開業時期を前倒し
平成27年 3月	北陸新幹線 長野・金沢間 開業	
平成28年 3月	北海道新幹線 新青森・新函館北斗間 開業	
令和 4年 9月	西九州新幹線 武雄温泉・長崎間 開業	
令和 6年 3月	北陸新幹線 金沢・敦賀間 開業	